

子どもたちと交流しよう

8月19日(月)に、放課後等デイサービス・こどもサポートハウス「おむすび」の子どもたちを本校に招いて交流しました。

午前中は、3年福祉コースが、自分たちで考えた手作りおもちゃやゲームと一緒に遊びました。子どもたちの中には、一人で全部作れる子もいれば、一緒に作った子もありました。短い時間でしたが、子どもたちは、作ったおもちゃで楽しく遊んでいました。



<感想>

- ・ 普段関わらない子どもたちと交流することができて新鮮でした。
- ・ 子供たち一人一人が違う性格で、恥ずかしがり屋な子もいれば、積極的に声をかけてくれる子もいました。自分も様々な性格の子供たちとの関り方を学びました。
- ・ 今まで手作りおもちゃを作ったことがなかったけれど、簡単に作れるもので、たくさんの遊ぶことができました。
- ・ 意外と器用に手先を使っているのに驚きました。子どもはなんでもできないと決めつけず、子どもたちと関わっていきたいです。

午後は、郷土芸能部がおわらの踊り・楽器体験のサポートをしました。初めて触れる楽器に戸惑いながら、楽しそうに体験する姿が印象的でした。

